



保育室便り 11月号



朝夕の寒さを本格的に感じるようになってきた保育室では0歳の小さなお友達の登園が多くなり、小さな手足や遊びの時に見せるホヤ~としたかわいい笑顔に癒されます。少し大きなお兄ちゃんおねえちゃん達もずいぶんと小さなお友達に慣れてきた様子で、保育者と一緒にあやしたりラトル（握って遊ぶおもちゃ）を持って来たりと優しさも見られるようになりました。

離乳食が始まり、おいしそうに食べる子や、お箸を持つのが上手になった子、トイレトレーニングが進みトイレでの排泄が出来るようになった子どもたちも日々の成長を感じる月となりました。

お散歩では舞鶴公園に出かけ、木の変化を知りました。落ち葉は真っ赤な物から黄色の物と形も色もさまざまで子ども達は袋に沢山拾って保育室に帰り「赤いね~黄色いね~」と言いながら色でわけたり、大きさをわけたり、工夫をして遊ぶ姿も見られました。後日A君が登園時に顔のように見える葉っぱを持って来たので「すごいね~」と見まわし、好きな色画用紙で葉っぱのお面を作って遊ぶなど秋を楽しみました。

子ども達とのおしゃべりの中で、写真や絵本などを見ながら季節の流れを確認するように思い出話をすると時間の概念を楽しみながら身につけることができます。

11月の絵本

「ちいさなたまねぎさん」

せな けいこ 作

金の星社

玉ねぎ嫌い！子ども達には不人気な玉ねぎさんがヒーローになるお話です。

「14ひきの ひっこし」

いまむら かずお 作

童心社

仲良し家族が冬ごもりのためにお引っ越しをします。

年長者が子ども達に多くのことを伝える大切さを味わえます。

「かにかにではれ さるかにかっせん」

おざわ としお 再話

くもん出版

沢山の日本の果物が出てきます。昔話ならではの、教訓が詰まったお話です。

12月の遊び

室内では…色や形を意識して遊びます。パズルや積み木などを楽しみます。

散歩では…クリスマスや新年の準備など街並みの変化を楽しみます。

製作では…ツリーやリースなどの月齢にあった製作。自由画を楽しみます。

意識したい行事 (12月の行事)

12月は師走と言われ忙しく日々が過ぎてしまう一年最後の月になります。

その中で子ども達の楽しみにしているクリスマスも待っています。しかし、日本の師走の過ごし方として年越しはお正月を心地良く迎える準備を行います。新年を迎えることを意識して子ども達と一緒に大掃除や年賀状の準備、しめ縄やおもち、時間をかけて準備をする「おせち」など、12月にしかできない行事を楽しまれて見てはいかがでしょうか。